コンポーネントで“課題解決”をアシスト

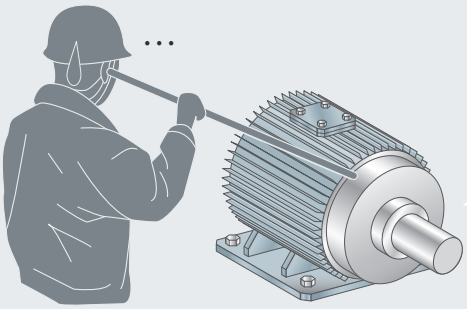
COMPASS vol.20

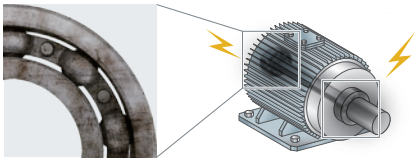
OMRON

モータ設備のベアリング異常監視で このようなお悩みはありませんか？

匠の保全の再現　保全ご担当者様

01 保全員が聴診棒をモータの軸受部に当て、音の大きさや音質でベアリングの状態を定期的に点検している。
しかし、音だけで判断するのは難しく、豊富な経験が必要だ…





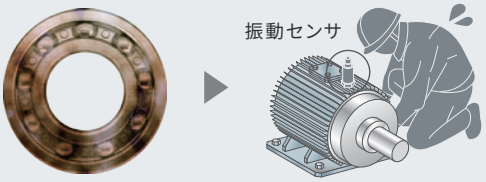
ベアリング内部に傷が付くと…　▶　モータに異音が発生

音だけでモータの異常がわかりますか？＊1
実際に聴いてみてください。

＊1.「音」は排気ファン軸ずれ異常の例です。

保全工数削減　保全ご担当者様

02 振動センサをモータに付けてベアリング異常を監視したいが、異常時のデータを測定し、しきい値の設定を行うのが大変…



ベアリングが壊れた際のデータを測定しておいて、新設する際にそのデータを参考にして、しきい値の設定を行う

保全頻度の適正化　保全ご担当者様

03 経験が豊富な熟練保全員でなければ、ベアリング異常の点検や保守が難しい。そのうえ人材不足のため、点検頻度が下がり、突然モータが壊れ、設備が止まってしまうことがある…

人手不足で点検頻度低下

これらのお悩みの解決をオムロンのモータ状態監視機器 K6CM-VBがサポートします

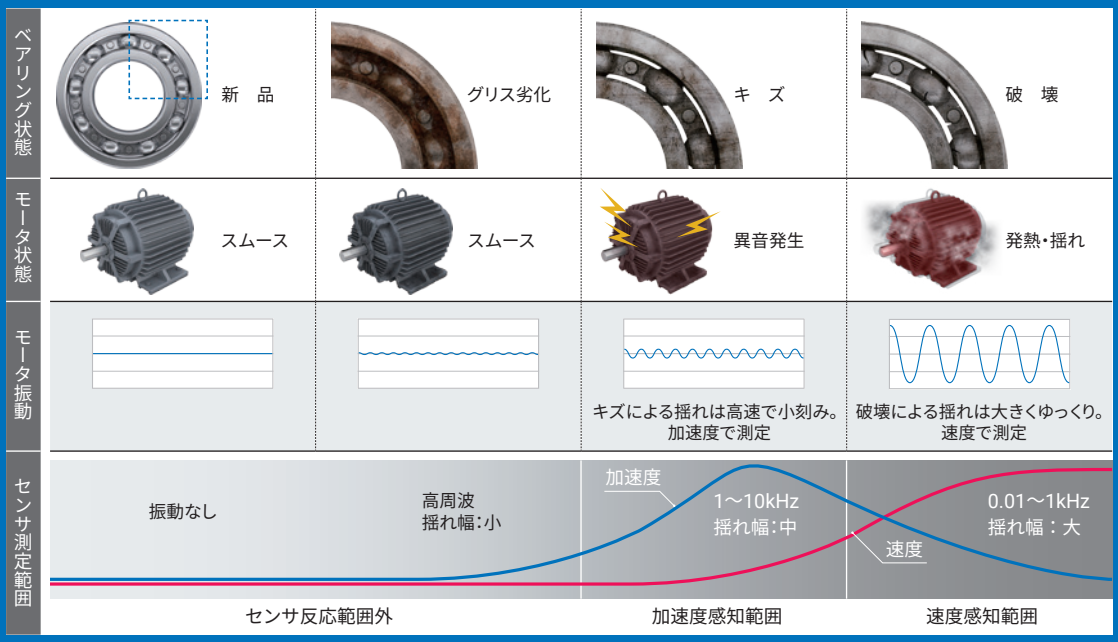
モータ状態監視機器　**K6CM-VB**（振動・温度タイプ）

本商品はテスト機貸出サービス（無料）があります。
ご利用の際は、営業員にお申し付けください。
Webでのお申し込みはこちらから＞＞
K6CM テスト機貸出サービス　検索

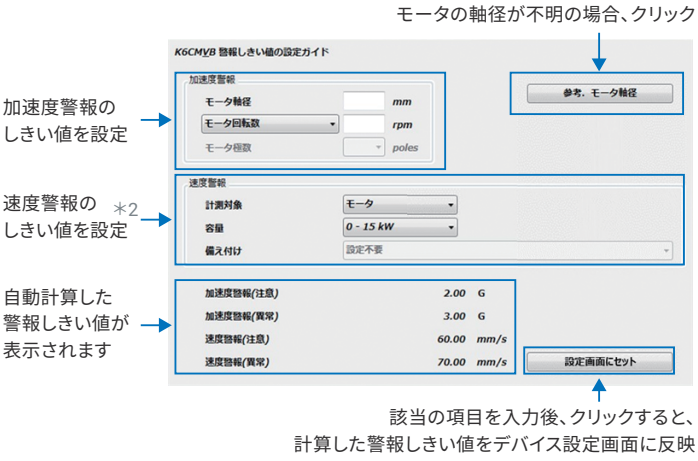
詳細は裏面をご覧ください

01 ベアリングの異常を振動と温度で常時計測 聴診棒による匠の保全をモータ状態監視機器 K6CM-VBが再現

K6CM-VBはモータの振動を常時計測することで、ベアリング異常の兆候を早期に検出可能です。振動と合わせて、モータの表面温度も同時に計測できますので、過負荷時の異常発熱なども監視することができます



02 K6CM-VBなら異常発生時の参考データは不要。専用ツール*1の[K6CM_VB 警報しきい値の設定ガイド]ダイアログボックスに、監視対象のモータ情報を入力することで、加速度と速度の警報しきい値を自動で設定できます



03 本体の正面に「警報バー」を標準装備。色で異常の度合いがわかるので、熟練の保全員に頼ることなく、高頻度に点検可能。また、ネットワークにつなげば、1台のPCから最大10台のモータの状態を遠隔監視できます

K6CM-VB
デモ動画は
こちら＞＞

*1. 専用ツール（Motor Condition Monitoring Tool ）は本体同梱のCD-ROMに格納されています。
*2. 速度監視のしきい値は、ISO2372 に基づいて自動計算されます。
注. EtherNet/IP™はODVAの商標です。Modbusは日本、米国またはその他の国におけるSchneider Electric USA Inc.の登録商標または商標です。スクリーンショットはマイクロソフトの許可を得て使用しています。

オムロン制御機器の最新情報がご覧いただけます

www.fa.omron.co.jp 緊急時のご購入にもご利用ください！

お問い合わせ

フリー通話 0120-919-066
9:00~19:00
（12/31～1/3を除く）

オムロンFAクイックチャット
9:00~12:00／13:00~17:00
（土日祝日・年末年始・当社休業日を除く）
チャットはこちら

発行：オムロン株式会社
インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー

カタログ番号 SASP-075A 2023年5月現在

オムロン商品のご用命は

© OMRON Corporation 2023 All Rights Reserved.
お断りなく仕様などを変更することがありますのでご了承ください